

聾学校地域支援だより

思いがけない休校となり、大変でしたね、元気に過ごしていますか。

今年度も、通級指導や教育相談でみなさんに会えるのを一同とても楽しみにしています。



学校長挨拶 土橋 恵津子



本校は聴覚に障害のある子どものための県内唯一の専門教育機関です。在席の幼児・児童・生徒だけでなく、聞こえや言葉に支援が必要な県内全ての子どもたちを応援します。このため本校には「聴覚障害支援センター」が設置されています。昨年度は、乳幼児教育相談、通級指導教室、定期的教育相談、合わせて160名以上の利用がありました。

これからも、子どもたちが自分の良さを伸ばし、笑顔で学校生活を送るために、関係者が協力し合えるよう、情報提供、相談、支援などを行います。電話での相談、来校しての相談はもちろん、必要があれば出張しての相談にも対応しますので、お気軽にご相談ください。

職員紹介

稲田佳史・関根富美代・水嶋理絵・早川真由美・落合佳美・大崎啓子



☆巡回指導先☆

館林市立第三小学校ことばの教室

利根沼田振興局

みなかみ町中央公民館

学習や生活上の配慮についての相談を行っています。お気軽にご相談ください。

群馬県立聾学校 聴覚障害支援センター

027-223-3233

難聴理解授業をやっています

自分からうまく
言えないしなー



もっと僕の耳のこと
わかってほしいなー

子どもたちから学校生活を送るなかで、「僕の耳のことをわかってほしい。」という相談を受けます。

そこで本校では、相談を重ね、学校に伺って難聴理解授業をしています。地域の子どもたちに聞こえにくさの体験や、実際に補聴器体験をしてもらっています。

「こんなに雑音がすごいと聞こえないことがわかりました。」など多くの感想をいただきました。ぜひ一度ご相談ください。



職員研修で聴覚障害についてお話しています。



難聴のお子さんの担任になったけれど、どうしたらいいのかな？

該当するお子さんの聞こえの様子についての説明や、授業中や学校生活に関する指導についてご相談させていただきます。

多くの学校で「来てもらって、子どもの様子がよくわかりました。」などご意見をいただいています。ぜひご相談ください。

聴覚障害 Q&A をご活用ください



Q・015

「校外学習や修学旅行について、どんな配慮が必要ですか？」

てから農機教諭に預け、乾燥ケースで管理してもらうとよいでしょう。
 宿泊をとまると、さらに配慮することが増えます。
 補聴援助システムや人工内耳は充電が必要です。充電器を準備するとともに、どの部屋で誰が充電するのか、決めておくことが必要です。
 補聴器なら予備の電池も必要です。忘れないようにしましょう。
 「朝、どうやって起きるのか？」心配する人も多いです。補聴器や人工内耳を、夜間乾燥させるために外して寝ると聞こえないからです。友だちや先生に頼む人が多いですが、心配なので、補聴器をつけたまま寝ることになった人もいます。
 いずれにしても、校外学習や修学旅行の具体的な場面を想定して、話し合っておくことが必要です。「しおり」を使って、担任の先生やおうちの方、通級の先生とよく相談しておきましょう。



校外学習や、修学旅行に行く時に、マイクはどうしたらいいですか

校外学習や修学旅行は楽しみですが、補聴器や人工内耳を活用するうえで、様々な配慮が必要になります。
 まず、補聴援助システムのマイクを誰に使用してもらうか考えましょう。通常は、担任の先生に使用してもらいますが、説明するのがガイドさんなら、話す人に使ってもらいます。タッチスクリーンマイクのインタービューモードで使うこともできます。
 班別活動をする場合は、班長さんにマイクを使ってもらおうのか、マイクを使わないのかを考えます。
 次に、雨や曇への対応です。濡れないように帽子をかぶったり、防電用のイヤーマフで覆ったりする人もいました。
 湖でカッターをこぐときには、人工内耳をつけた側を船の内側にしました。方が人工内耳を落としても、湖に落ちないように座席を配慮してもらいました。
 スキー教室で、マイク本体はウェアにしまっ、ラベルマイク部分だけ出すように工夫した人もいました。
 臨海学校では、徳島から海までは、補聴器や人工内耳を装着し、海での説明を聞いて



ガイドさんにかけてもらったり、班長さんにかけてもらったりしてはどうですか？



その他いろいろなテーマを取り上げています。ぜひご覧ください。